

# 令和5年度 第1回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

**1 開催日時** 令和5年6月29日(木)  
14時00分～16時00分

**開催場所** 小牧市社会福祉協議会 3階 大会議室

## 2 出席者

- (1) 推進市民会議委員 17名(欠席:行村委員、藤本委員、舟橋委員)
- (2) 事務局 支え合い協働推進課 倉知課長、堀田主幹、臼井係長、落合、川口
- (3) 地域協議会代表者 6名(小木小学校区地域協議会2名、小牧小学校区地域協議会2名、一色小学校区地域協議会2名)
- (4) 傍聴者 0名

## 3 会議資料

会議次第

- 資料 1 地域協議会の設立状況(令和5年5月末現在)
- 資料 2 地域協議会の活動状況(令和4年度実績)
- 資料 3 令和5年度 地域協議会事業計画一覧表
- 資料 4 小木小学校区地域協議会の活動について
- 資料 5 小牧小学校区地域協議会の活動について
- 資料 6 一色小学校区地域協議会の活動について
- 資料 7 ヒアリングシート

## 4 会議内容

- 1 市民憲章の唱和
- 2 新委員の委嘱
- 3 あいさつ
- 4 地域協議会の設立・活動状況・令和5年度事業計画(資料1～3)
- 5 地域協議会代表者による活動発表(資料4～6)
- 6 意見交換
- 7 その他

【事務局】

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまより令和5年度第1回小牧市地域協議会推進市民会議を開催させていただきます。まず初めに、市民憲章の唱和をさせていただきたいと思っております。お手元の次第の裏面をご覧くださいまして、ご起立をお願い致します。恐れ入りますが、私が先導させていただきますので、合わせて唱和をよろしくお願いいたします。

〔小牧市民憲章 唱和〕

【事務局】

ありがとうございました。どうぞご着席ください。

続きまして、新委員の委嘱となりますが本年度になりまして、小牧市区長会連合会会長に就任されました近藤鎮彦様、改めて推進市民会議の委員として就任いただきましたのでこの場でご紹介させていただきます。

【近藤委員】

先ほどご紹介にあずかりました近藤と言います。今年度区長会の連合会長を務めております。よろしくお願いいたします。

【事務局】

どうぞよろしくお願いいたします。続きまして、健康生きがい支え合い推進部におきまして、今年度、人事異動がございましたので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。

〔事務局 紹介〕

【事務局】

では続きまして、次第の3「あいさつ」といたしまして、健康生きがい支え合い推進部部長江口よりご挨拶を申し上げます。

### 【江口部長】

皆様こんにちは。健康生きがい支え合い推進部部長の江口と申します。本日は、本年度1回目となります小牧市地域協議会推進市民会議のご参加を賜りまして、誠にありがとうございます。また皆様方には平素より地域協議会の活動をはじめ、市政各般に渡りましてご理解とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございます。

さて本日ですが、3つの地域協議会から活動発表をしていただく流れとなっております。本年3月にマスクの着用の見直しが行われまして、5月の8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが、2類相当から5類に移行されたということで、基本的には行動制限などの公的関与はなくなったところですが、本日発表いただく地域協議会におかれましては、昨年度までコロナ禍ということもありましたので、なかなか思うように活動を進められなかったという面もあるかと推察をいたします。地域での活動という話題になりますと、どうしても個人の負担感や担い手不足という共通の課題がクローズアップされます。我々事務局といたしましても、こうした課題をできるだけ解消していきながら、住民の皆さんに役立つ活動を、地域協議会という制度を活用していただく中で、展開できないか試行錯誤を繰り返しているところです。現在13小学校区設立していただいておりますが、これまで皆様方に「みんなで育てる地域の手引き」などを作成いただいておりますので、なんとか16小学校区揃った形でこれらの手引きなどを活用していただきながら取り組みを進めていけるよう、事務局としても務めてまいりますので、またご協力のほどよろしくお願い致します。地域協議会の取り組みにつきましては、有識者の皆様、また、現場でご活躍いただいている皆様との対話が不可欠であります。そうした意味でも本日、皆様方からの活発な意見交換というご期待を申し上げまして、簡単ではありますが、私のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

### 【事務局】

ありがとうございます。続きまして、次第の4、「地域協議会の設立・活動状況・令和5年度事業計画」について説明をさせていただきます。次第に

沿って進めさせていただきます。

資料の1をご覧ください。地域協議会は現在、16小学校区中、13小学校区で設立されております。未設立小学校区の状況ですが、村中小学校区では、これまで、区長さん方と話を進め、小学校区での勉強会、説明会を行ってきました。そしてこの5月に、区長、区長OBによる設立準備委員会が立ち上がり、今年度中の地域協議会設立を予定していると聞いております。米野小学校区では、区長さん方と話をし勉強会を行ってきており、この7月に住民勉強会を予定しているところです。小牧南小学校区においても、関係者と個別に話をしており、設立に向け調整を続けているところです。

資料の2をご覧ください。各小学校区で昨年度に実施された事業の一覧になります。昨年度はコロナ禍からの活動再開というタイミングで事業を実施されております。簡単にではありますが、ご紹介させていただきます。時間の都合もありますので、いくつか掻い摘んでのご説明とさせていただきます。まず、3ページの上段、大城小学校区では、委員が個別相談に乗る、スマホ初心者使い方相談会を開催しました。相談された高齢者の方からとても感謝されているとのこと。同ページ中段、本庄小学校区では、歩いて行ける距離で地域の方に音楽に触れてもらう機会を設けようと、新たにふれ愛コンサートを実施されました。同ページ下段の味岡小学校区でも、新たに芸能発表会を実施されました。地域で芸能を親しまれている方が、日ごろの練習の成果を存分に発表され、大変好評をいただいたと聞いております。このように交流事業において、コロナ禍からの再開が鮮明になっています。4ページ上段、光ヶ丘小学校区では、社会福祉協議会や企業と協働し、買い物に不便な地域に対し、車両による食料品などの移動販売を行われました。利用者に大変好評で継続していかれるとのこと。続きまして、5ページ目をご覧ください。上段、北里小学校区では、小学生向け、認知症サポーター養成講座を開催されました。普段は地域で見守られる側である小学生にも認知症について学んでもらい、正しく理解してもらうことで、認知症を身近に感じ、自分達にもできる見守りをしてもらうことで、地域に住む全ての方が、お互いに助け合える地域を目指して講座を開催されました。

続きまして、各地域協議会の今年度の予定についてご説明いたします。資

料の3をご覧ください。すでに実施された事業がありますが、資料の2同様、いくつか掻い摘んでご説明させていただきます。陶小学校区では、新たに陶っ子ウォークラリーに取り組み、6月に開催し、楽しみながら地域の文化財などの歴史に触れる機会を設けられました。陶っ子凧あげ大会でも昔の遊びに触れる機会を設けられます。篠岡小学校区では、4年ぶりとなる、しのっ子水風戦を6月に開催されました。多くの子どもたちが参加し、子どもたちは、中学生ボランティアが作った水風船を手に、競技を楽しみました。中学生ボランティアには防災訓練にも参加してもらい、地域活動への参加を促しています。小牧原小学校区では、小学校と連携した活動が活発に行われています。低学年児童下校時見守り活動のほかに、原っ子コミュニティフェスティバルを開催し、昨年度好評だった、ダブルダッチの体験を行います。桃ヶ丘小学校区では、桃ヶ丘小学校区内に農園を整備し、子どもたちと一緒にいろいろな農作物を育てられました。また、農協と連携した青空市場は、昨年度好評だったことから、夏と秋の2回開催されます。三ツ渕小学校区では、コロナ前まで、運動会を実施していましたが、運動会の設営を続けていくことが難しいとのことから、ボウリング大会を予定されています。小木小学校区、小牧小学校区、一色小学校区では、後ほど発表をいただきますので、ここでは割愛させていただきます。以上で説明を終わります。

#### 【事務局】

以上、次第4の地域協議会の設立・活動状況・令和5年度事業計画について事務局からご説明をさせていただきました。急いでのご説明となりますけれども、何かご質問等ございますでしょうか。

#### 【小柳委員】

ご報告されました、地域協議会が13小学校区できておるということですけれど、あと3つの小牧南も、村中も、米野もそれぞれ活動されていらっしゃるとのことで、それを続けていただければありがたいと思います。それと今までいろいろな活動報告をされていますが、私どもも活動しております。小学校の農園関係で学校側でも「手が付けられない」と言われているので「私どもがやりましょう」ということで農園をやっています。ま

だ2年目になりますが、土壌も悪いものですからプロにも協力を依頼しておりますが、まだ時間がかかります。なんとかやっていますが、予算が余るんです。計画を立てるとき1番使っている協議会では年間380万円使っているのですが、やってないところは42万くらい。そのバランスが問題だと思います。事業にどれだけの費用がかかるのか僕らは全然知らんです。

農園をやっている時もボランティアでお茶も持ってくるのです。そういったところにどんどん使っているものか、予算の関係もそのような有効な使い方があるか教えてもらいたい。「こういうものは思い切り使ってください」というものがあれば、僕たちは草取りなどで、小学校へ協力をしているつもりですが協力がすぎると、小学校の学校教育の邪魔になることを心配しています。クリスマス会などのイベントも小学校の体育館を使って実施しておりますが、学校教育の範疇で助け合いになるようにしています。あくまでも学校経営を支える地域の立場でやっています。そういうことも含めて教えていただければと、僕たちもさらに充実した内容で活動ができると思います。そんな私の思いだけ、お伝えさせていただきました。ありがとうございました。

### 【事務局】

ありがとうございました。先ほどお話いただきました通り、少し事務局の方からご紹介させていただきました、未設立の学区については、先ほどの繰り返しになっておりますが、村中地区については今年度設立準備委員会の発足をしていただき、年度内・今年度明けでの協議会立ち上げに向けて進んでいきたいと、我々は支援を進めております。

また、米野地区におきましても、区長さんたちを集めた会合や、対象者を広げた勉強会を開催しながら機運を高めようとしております。実際に活動されることとなる地域の方達と話を進めておりますので、急ぎ足ではない点もございますが、努力させていただきますので、また皆様のご支援をいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。また、各地域協議会の取り組みの違いの点につきましては、地域協議会の代表者会議などでの形で情報共有を諮っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

それでは会議の方を進めさせていただきたいと思います。以降の進行につ

きましては、恐れ入りますが会長の方にお問い合わせしたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

【加藤会長】

改めまして、こんにちは。まち楽房の加藤武志と申します。よろしくお願ひします。みなさん名札は作られていますか。一番上が呼ばれたい名前になっています。意見交換の際にはぜひ、そのお名前でご呼んでください。僕は加藤たけしですが「たけぞー」って呼べば、「はい」って返事をしますので、ぜひ呼んでください。

では、お待たせいたしました。今日は3地区も紹介があるので、まずは小木小学校区地域協議会の皆さん、発表の準備の方をお願ひしてもいいですか。会長の鈴木さんと防災部会長の河野さんよろしくお願ひします。

皆様のお手元にパワーポイントの資料、白黒ですけど閉じたやつが画面と同じものがご用意されています。それから発表を聞いて気になった点とかもうちょっと掘り下げたいなと思ったところはヒアリングシートというのが団体ごとにあると思います。後程、事務局さんがそのヒアリングシートを今度の参考のために一旦回収されるそうです。書ける範囲で結構ですのでちょっと思いついたこととかご意見をお書きいただくと事務局さんが喜ぶかなと思います。では、準備が整ったようですので、小木小学校区地域協議会の皆さんから発表をお願ひします。拍手でお迎えてください。

[小木小学校区地域協議会 鈴木会長、河野防災部会長より発表]

【加藤会長】

小木の鈴木さん、河野さんありがとうございました。今の発表についてご質問とか感想とかありましたら。では小柳さんお願ひします。

【小柳委員】

先程、主要な団体の一つのスポーツ振興会の解散という話がありましたが、解散の経緯など状況をわかる範囲で教えていただければと思います。

【鈴木会長】

色々事情があるようです。説明させていただきますと、我々地域協議会におきましてもやはり同じような現象がおきていると思うのですが、会長跡継の養成ができないということ、次の会長を引き受けてくれる者がいないというのが要因です。

**【加藤会長】**

ありがとうございます。もう1度大きな拍手を。

**【土屋委員】**

先程の発言の中で、民生委員の参加について発言がありました。地区は違いますが、私も民生委員をやっていました。どのような意味合いなのか教えていただきたい。地域ごとに民生委員はいらっしゃるので、協議会に入っていると思うのだけれど、意味が分からなかったので説明してください。

**【鈴木会長】**

昨年まで北里地区の民生委員の会長が、小木と北里の地域をまとめて北里地区の民生委員会として一緒に活動をさせていただいていました。小木の民生委員さんに対する働きかけをいただいて、我々のほうも小木の民生委員さんとの打ち合わせ会も進めてきておりました。しかし、民生委員さんの職務の在り方として守秘義務の問題や考え方の違いに難しさがありました。

**【加藤会長】**

ありがとうございます。このあと共有の時間がありますので、そこでまた聞いてください。もう1度2人に大きな拍手を。ありがとうございます。小木小学校でした。

次は小牧小学校区の発表です。準備をしていただいているいいですか。皆さんその間にヒアリングシート、気づいたこととかもうちょっと聞きたかったなということを書いていただくと、意見交換する時間に活用できるかと思っておりますので、書いておいてください。小牧小学校区の準備ができれば始めたいと思います。



小牧からは会長の伴野さん、副会長の水野さんがお見えになっています。  
拍手でお迎えください。

[小牧小学校区地域協議会 伴野会長、水野副会長より説明]

【加藤会長】

ありがとうございます。伴野さんと水野さんでした。自主防災についてのお話を中心にしていただきました。時間も押しているので交代しましょう。もう一度大きな拍手を。それでは皆さんヒアリングシートちょっと書いておいてくださいね。一色の協議会の皆さん準備をお願いします。

[一色小学校区地域協議会 池田事務局長、交流部会平坂副部会長より説明]

【加藤会長】

ありがとうございます。一色の小学校区地域協議会のヒアリングシートについて書いていただいて、今から5分ほど休憩を入れたと思います。休憩のあと、今は前の方にスライド見るために座っていますが ABCD の関心があるテーマに休憩のあと移ってほしいんです。

A は小木「他の団体とも協働したい」特に運動会やウォーキング大会や広報活動、スポーツ振興会もなくなったことだから、どうやって協働をしていったらいいんだろうという話をしたいとおっしゃってます。なのでウォーキングについて話を聞きたいとか、テーマに関心がある人は A に移動をしてください。

B は担い手の確保です。担い手や後継者が足りない、同じ人だけが何年もやってるといった問題など、担い手について話し合いたい人は B。

C は交流事業の参加者増加や、協働事業のパートナーを募集するけどなかなか手が上がらないということで、どうやって人を巻き込むか、集客するか話し合うのが C。

D はおたすけ隊を立ち上げたい。アンケートでは 86% の人が欲しいと言ってるけどどうやって立ち上げたらいいかっていうテーマです。

2 テーブル回る時間、短時間ですけど取りたいので、A と C 行きたいとか

BとD行きたいとかちょっと頭の中でイメージしてください。4人とか5人でちょうどいい感じになると思います。行きたい意中のところがいっぱいであったら、2ラウンド目に回ってもらえればなと思います。では一旦休憩したいと思います。5分後に開催したいと思います。お疲れ様でした。

[休憩、席移動]

【加藤会長】

ではお席にお座りください。再開したいと思います。

4時には終わりたいので1ラウンド15分間、15分間その4人5人で話し合います。できればヒアリングシートを書いてもらったので、気になったことや、私の知ってる参考事例とか、提案発表者に伝えたいことを是非、分かち合ったらいいかなと思います。ヒアリングシートに書いてあるだけだと、なかなかここで読み上げる順番が回ってこなかったりするので、もし手が空いた時があれば、机の上に付箋があるので、自分の考えた案を書いといてあげると、その模造紙に貼って共有をしてもいいし、あとでそれがふと参考に、いいアドバイスになると思うのでそれを書きながら、おしゃべりしながら、15分間、この1ラウンドをやりたいと思います。ルールはそれだけです。15分間それぞれのグループのテーマについてお話ください。よろしく願いしますからスタートしましょう。よろしく願いします。

[意見交換 15分]

【加藤会長】

時間になりました。お互いに拍手でお疲れ様でした。では全員立ち上がっていただいて、発表者は残っていただいて、次の席へ行っていただきます。お疲れ様でした。

[席移動 3分]

【加藤会長】

揃ったようなので、このメンバーで同じように15分間なるべく全員と話せるように、ちょっと工夫してください。1個だけせっかく名札を付けてもらっていますが、机の下に入ってしまったので見える位置にしてください。では始めたいと思います。15分間よろしくお祈いしますからスタートです。よろしくお祈いします。

[意見交換 15分]

【加藤会長】

ちょうど時間になりました。お隣同士拍手でお疲れ様でした。今日2ラウンド回ったんですけど、1番最初に3協議会さんから登壇して発表して、それとその後2ラウンドを通して自分自身が感じられたこと、これをちょっと今日持ち帰れるなと思ったことをちょっとだけシェアして終わりたいなと思います。Aグループさんの中でどなたか、他団体との協働というテーマで話されたと思うんですけど、そのことでもいいですし、それ以外のことでもいいので発表をお願いします。

では拍手でお迎えくださいませ。

【平手委員】

他団体との協働ということで、地域協議会の中でも高齢化があるんだという話もありました。スポーツ振興会もなくなってしまったというところと、働き世代の参加率が低いということで、今後も時間が経ってしまうと、また中間層が参加できない状況が生まれてしまうのかなと思ひまして、どのように中間層を巻き込むのかを考えていかななくてはならないねという話をしていました。

【加藤会長】

では拍手で。平手さんありがとうございます。ではBグループどなたでも結構です。発表をお願いします。ひと際大きな拍手でお迎えくださいませ。ではニックネームからお願いします。

【小牧小学校区地域協議会 水野副会長】

担い手が少ないという話です。当初は区長 OB と区長のメンバーで立ち上げ、現在 10 人ぐらいです。最初の方にもちょっとお話したのですが、市のほうで地域協議会とは何だということを PR していただいて、その中から関心がある、そういう方を増やして組織をしていきたい。先ほど社会福祉協議会のボランティア活動みたいなのは若い人たちも集まってくると聞きました。社会福祉協議会に登録するボランティアの団体を立ち上げて、仲間に入れる。地域協議会があると紹介し、2 段階で運営委員へというような流れもあるんじゃないでしょうかという話になりました。以上です。

【加藤会長】

ありがとうございます。素晴らしい発表でした。

C グループは交流事業の参加者集めですよね。では拍手をお願いします。

【関委員】

小牧小学校地区は色々と子どもが遊ぶ施設があると思います。イベントも多いです。その分意見がいろいろあるというか、うまく噛み合っていないように思います。

中心市街地の活性化というプロジェクトもあると聞いていますが、各実施主体を繋いでいくのが難しいかなと思います。

地域協議会自体がとてもいいことであるっていうのは皆さん承知されていると思いますが、参加に関心を持ってもらって、色んなステップがあり、中でも緩やかに始められるきっかけが作っていけるといいなと思いました。ありがとうございます。

【加藤会長】

素晴らしい発表ありがとうございます。では D グループ。おたすけ隊の立ち上げというお話をしていただこうと思います。

よろしくをお願いします。ニックネームからお願いします。

【山本委員】

おたすけ隊を作りたい、どうしたらいいんだろうというお題でした。おたすけ隊を作ってほしいというのはアンケートを取って住民の方の 86% が

希望されているのはということなんですけれども、実際におたすけ隊をやっている方からお話を伺うと「できないことは最初から断る」と言われた委員さんもいらっしゃいました。でも、「最初から断るのもなんだから、やれるんじゃないか思い、実際にやってみた」という方からは、「木の根っこのほりなどやり始めたら3時間ぐらいかかった」という話も聞きました。やってあげたいという気持ちも大事なのだと思いますが、結局は、「ちょっとした手伝い」そんな業者…プロじゃないからこれはできないよ、ということも必要なんだという話でした。あとは、まだ活動で実際に動ける人の問題です。おたすけ隊を誰がやれるかというところですね。メンバーにはやっぱり若い方にも入ってほしい。だけど、いつでも動ける人が実際は必要なんだというところがやっぱり難しいんです。やってあげたいという気持ちと、その要望を十分に受け止められるほど動ける人が少ない。やっぱり難しいなっていうことなんです。

#### 【加藤会長】

ありがとうございます。できないことをできないということや、メンバー以外の人をどう巻き込むかという話です。では最後いつもお願いしている椙山女学園大学の伊藤教授から全体を通して感じたことで結構ですのでお願いします。ひと際大きな拍手でお願いします。

#### 【伊藤委員】

いつも皆さんの協議会を聞かせていただいて、協議会の成熟度が見えてきたなと感じています。地域協議会がなぜ必要なのかというところに、その都度、立ち戻らなければならないと思っています。地域協議会に必要なのは関係づくりだと思います。関係ができてない所でお願いされても嫌ですよ。「そんなんようせんわ」っていう感じになってしまうと思います。しかし、関係がある人が困ってるって言ったら「何とかしてあげたい」とか、「自分も手伝おうかな」と思うかもしれません。おそらくここに来られている方はそういった習性を持っていらっしゃる方だと思います。地域協議会のような互助組織を広げていくためには、基盤の関係づくりが大切で、一気にそれを小学校区で作っていくことは無理だと思います。おそらく、今3つできていないのは、やっぱり人と人との関係の必要性がわかってな

い、感じてもらえてないからかもしれません。あるいはそういう地域の関係の必要性が職住分離で別になってしまっており、別になってしまっているから、地域の繋がりがわからなくなっており、必要性がわからなくて、何もしなくも日々過ぎていくし、仕事忙しいしで過ぎていってしまっているのだと思います。今地域で1番生活をしているのは高齢者と子供です。だからアピールする先は子供と高齢者です。子育て世代にアプローチとしていくためには、小学校とタッグを組んでほしいという私の希望を言って終わりとします。以上です。

#### 【加藤会長】

大きな拍手を。では今日登壇してくださった3地区のスピーカーの方が各テーブルにいらっしゃると思うのでその方にまず大きな拍手を。15分くらいで話したりなかったと思うので、ぜひニックネームと所属を覚えといていただいて、また機会を見つけて「ちょっとあの話だけよく聞いてみたいわ」とかっていうのを続けていただけると今日のきっかけが無駄にならないかなと思います。つたない司会でしたけどちょうど時間になるのでここから小牧市さんにマイクをお返ししたいと思います。どうもありがとうございました。

#### 【事務局】

会長本日もありがとうございました。また、参加いただきました地域協議会の皆様ありがとうございました。

連絡事項でございます、次回の第2回の会議につきましては8月21日午前10時から、市役所の東庁舎の大会議室にて行います。それではお帰りの際にヒアリングシートと名札を回収させていただきます。これにて第1回小牧市地域協議会推進市民会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。